大六一志先生が語る

WISC-V
関連指標の解釈と活用

読み書き・計算のつまずきを理解し、支援につなげる

2027
1/17日
10:00 - 16:00



2026 年 7 月に発売された WISC-V 知能検査（21 検査版）には、呼称速度指標（NSI）、シンボル変換指標（STI）、貯蔵と検索指標（SRI）という３つの関連指標が加わりました。

本研修会では、日本版 WISC-V の刊行委員で、関連指標の開発にも携わられた大六一志先生をお招きし、３つの指標がそれぞれどのような認知機能を捉えるのか、得点を解釈する際にどのような点に着目するのかを解説していただきます。

さらに、STRAW-R や音韻検査、計算に関する検査にも触れながら、関連指標の結果をほかの検査の結果とあわせてどう読み解くかを学びます。子どもが読み書きや計算のどこでつまずいているのか、その背景をどう捉え、学習支援につなげるかを考えます。　※本研修会はオンラインで開催しますので、具体的な検査項目や実施・採点の手順は取り上げません。

講師

大六 一志　先生
知能発達検査室 顧問

日本臨床発達心理士会茨城支部支部長、放送大学客員教授、博士（心理学）。公認心理師。臨床心理士。臨床発達心理士。特別支援教育士スーパーバイザー。WISC-IV、WISC-V、WAIS-III、WAIS-IV、WPPSI-III の日本版刊行委員を務める。健診委員、巡回相談員、特別支援教育アドバイザー、顧問等。著書・論文多数。

形式

オンライン研修会
ZOOM のライブ配信（オンデマンド配信はございません）

当研修会は（財）日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士教育・研修規定別項 2 条 (4) による研修ポイントを取得予定です。

対象

医療、障害福祉、教育機関等で
心理検査に携わる専門職・学生の方

医師、公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士、精神保健福祉士、社会福祉士、言語聴覚士、心理カウンセラーなどの専門職。また、それらの養成課程の学生。

参考書籍として日本文化科学社のものを推薦しています。

参加費

一般の方　8,800 円(税込)
学生の方　4,400 円(税込)

お申し込みはこちらから ▶▶ ウェビナー公式サイト
https://psychological-test.jp/event/202701/

主催 知能発達検査室　共催 医療法人イプシロン